参 考 1

第7次栽培漁業基本方針（案）の概要

平成27年2月
水産庁

1 資源造成型栽培漁業の推進

○ 放流種苗を成長後に全て漁獲することを前提に長年にわたって放流を継続するのではなく、放流尾数が減少傾向にあっても、栽培漁業が沿岸資源の維持及び回復に確実に寄与するよう、親魚を獲り残して再生産を確保する資源造成型栽培漁業の取組を一層推進する。

【資源造成型栽培漁業の流れ】

種苗生産

中間育成　放流

漁場での育成管理

漁獲

仔魚 → 稚魚 → 幼魚 → 成魚 → 漁獲

取り残し

再生産

（産卵親魚）

産卵から漁獲までの間の資源減少のポイントと対策

○種苗の生産・放流

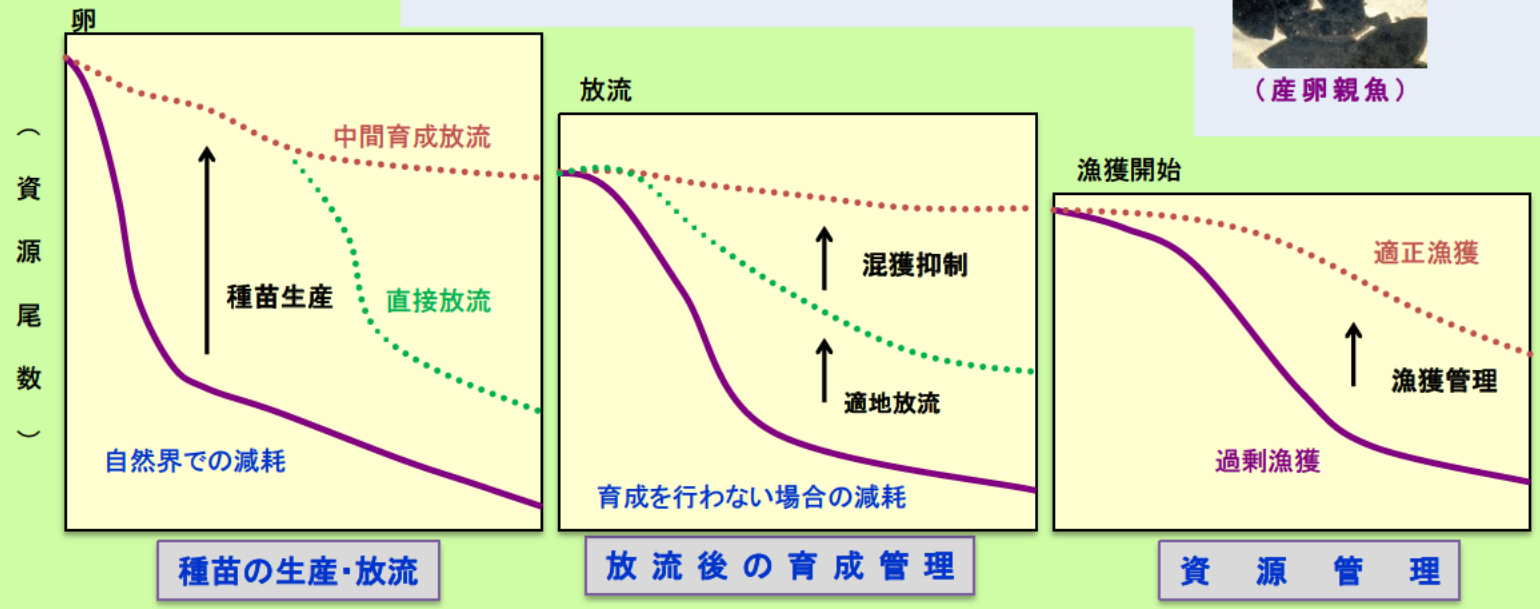
自然界でもっとも減耗が激しい卵から稚魚までを人為的に管理

○放流後の育成管理

餌生物や生息環境など条件が整った適地への放流や、放流直後の意図しない混獲等による減耗の防止

○資源管理

漁期、漁場、漁具等の制限による乱獲の防止



2 漁獲管理との連携の強化

○ 資源造成型栽培漁業の実現のためには、放流された種苗が成長し、再生産に寄与できるようにしていくことが重要であるため、必要に応じ、広域漁業調整委員会等において関係者の合意形成等を図りつつ、稚魚段階での漁獲の抑制や産卵親魚の獲り残し等の漁獲管理との連携強化に努める。

○ 資源状況が悪化している魚種については、適切な漁獲管理を種苗放流と一体的に実施するよう特に留意する。

【サワラの種苗放流と漁獲管理】

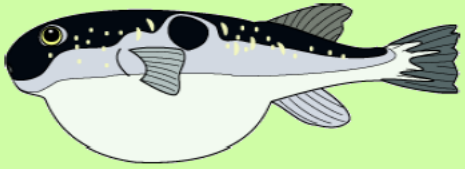
瀬戸内海11府県において共同で種苗生産し、8.4万尾(26年)を放流

和歌山県	・禁漁期間の設定
大阪府	・漁具の制限・休漁期設定・受精卵の放流
兵庫県	・漁具の制限・休漁期の設定・漁獲量の上限（過去5ヵ年の平均漁獲量の8割）
岡山県	・漁具の制限・休漁期の設定・休漁日の設置・漁獲量の上限（漁獲量制限）・受精卵放流
広島県	・漁具の制限・休漁期の設定
山口県	・漁具の制限・休漁期の設定・休漁日の設定
徳島県	・漁具の制限・休漁期の設定
香川県	・漁具の制限・休漁期の設定
愛媛県	・漁具の制限・休漁期の設定・休漁日の設定
大分県	・漁具の制限・休漁期の設定
福岡県	・漁具の制限・休漁期の設定

サワラの資源状況は、低水準ではあるが、増加傾向に転じている。

【トラフグの種苗放流（資源管理のあり方検討会とりまとめ）】

資源状態が悪化しているトラフグについて、資源管理と一体的な種苗放流を検討（放流適地の選定・放流の集中化・放流方法の検討）。



【資源管理】
・未成魚の漁獲抑制
・混獲未成魚の再放流の促進等

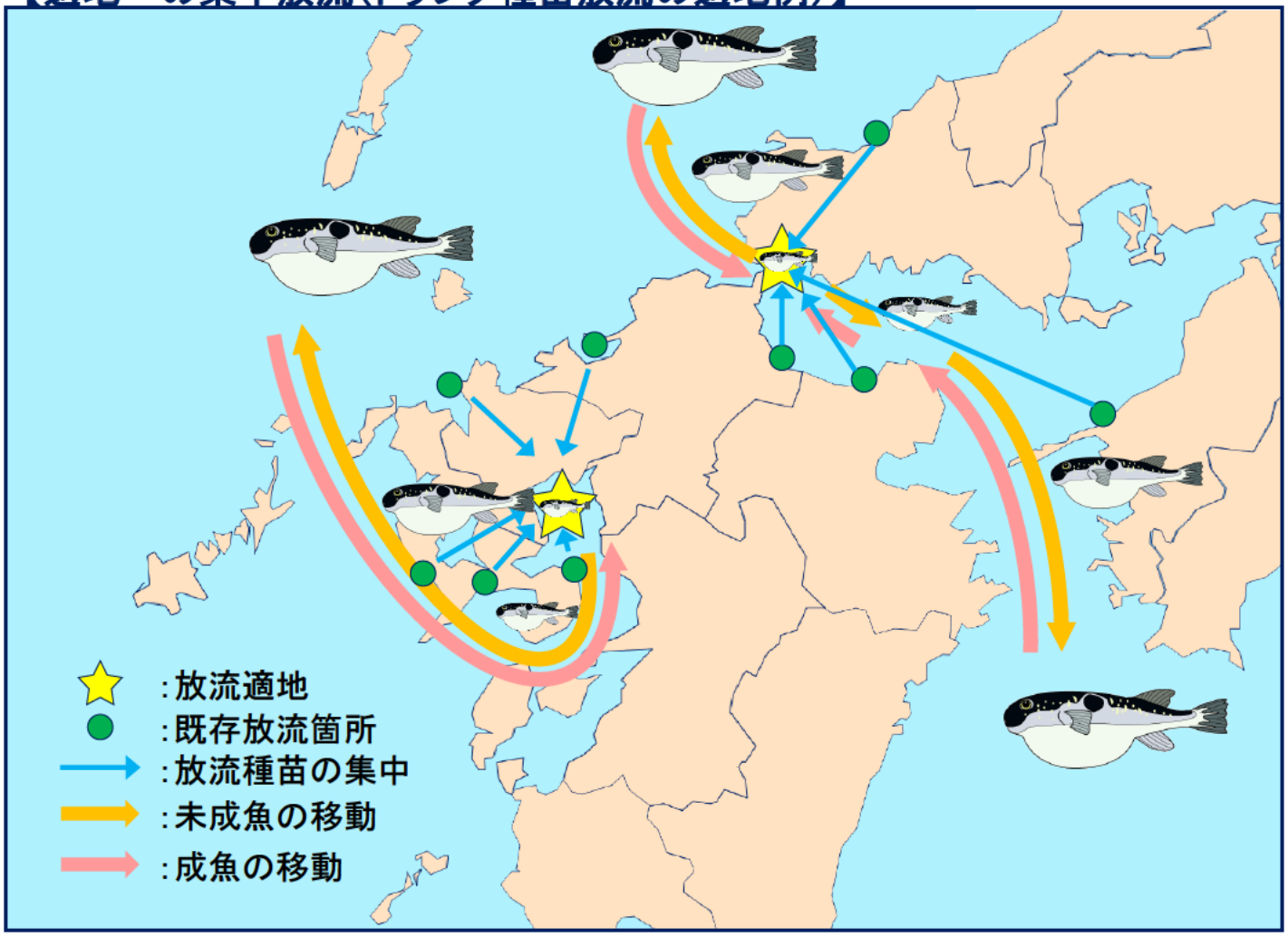
《トラフグ資源管理検討会議》
トラフグ関係20府県の漁業者及び関係団体、関係府県、研究機関、市場・流通関係者で構成。

資源状態が悪化している資源の早急な回復が図られる。

3　対象種の重点化等による効率的かつ効果的な栽培漁業の推進

○　種苗放流については、地域の実情、海域の特性等を踏まえ、多種・少量放流や分散放流とならないよう、漁獲量に有意な変化を見込める規模による放流、対象種の重点化や適地への集中化に取り組む。
○　対象種について、目標とする安定した資源状態が達成された際には、漁獲管理に重点を移し、種苗放流については他の対象種に重点を移す等、柔軟な対応を図る。

【適地への集中放流（トラフグ種苗放流の適地例）】



【種苗生産対象種の重点化の状況】

5次栽培漁業基本計画の79種から、6次基本計画では、68種に見直し。

	5次基本計画	6次基本計画
魚　類	43種	38種
甲殻類	8種	6種
貝　類	19種	17種
その他	9種	7種
合　計	79種	68種

4　地先種に係る継続的な実施体制の確立に向けた取組

○　放流した地先で漁獲されるウニ、アワビ等の地先種については、栽培漁業の持続的な実施体制を確立するため、「放流効果実証事業」の実施によって、放流効果の範囲及び程度を特定するよう努めるとともに、その結果を考慮し、継続的な栽培漁業の実施に向けて、適切な費用負担を検討する。また、必要に応じ、「特定水産動物育成事業」における育成水面制度を活用するよう努める。

○放流効果実証事業　沿岸漁場整備開発法第7条の2

放流による資源造成の効果を調べ、漁業生産の増大に係る経済効果を実証するもの。

その成果を漁協等に対して普及し、適切な受益と負担の実現を図る。

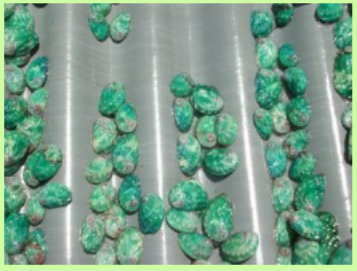
○特定水産動物育成事業　沿岸漁場整備開発法第7条の2

漁協や漁連が事業主体となり、特定の水産動物について、一定の水面を育成水面として定めて、その水面内での栽培漁業に対して、育成管理を漁業者自ら行うもの。

育成水面で特定の水産動物を採捕する際、組合員以外から利用料を徴収することができ、種苗の生産、放流に係る経費を賄い、経済的に自立した栽培漁業の実施を可能とするもの。

【放流効果実証事業の実施状況】

都道府県の第6次基本計画では、地先種について、6県においてアワビ、ナマコ、カサゴ、オニオコゼ、キジハタを対象に放流効果実証事業が実施されている。


アワビ

ナマコ

カサゴ

オニオコゼ

キジハタ

5 広域プランに基づく広域種の種苗放流の推進

○ 広域種については、その分布する海域の中で最も放流効果の高い適地に種苗を放流するとともに、都道府県の区域を越えて種苗放流に係る受益と費用負担の公平化に向けて取り組むことが重要。このため、海域協議会において策定された「効率的かつ効果的な種苗生産及び種苗放流に関する計画」（広域プラン）に示された資源造成の目標、種苗生産尾数、放流尾数、放流適地等を勘案し、種苗生産や放流等に取り組む。また、海域協議会等において、受益に見合った費用負担の実現に向けた検討を行う。

【広域プラン】
関係都道府県が連携して効率的かつ効果的な種苗生産及び放流等を実施するための計画。
・資源造成の目標
・種苗生産尾数
・放流尾数
・放流適地
等を定める。

6 共同種苗生産体制の構築

○ 近年、種苗生産施設の老朽化により種苗生産能力が低下してきていることを踏まえ、施設の計画的な補修・更新に努めるとともに、関係都道府県の種苗生産施設間での連携、分業等を推進し、低コストで生産能力の高い共同種苗生産体制の構築に取り組む。

○ なお、共同種苗生産体制の構築に当たっては、疾病等による生産不調等のリスク管理に配慮する。

【瀬戸内海東部サワラの共同種苗生産の事例】

《採卵》…5月
香川県及び大阪府の漁業者、栽培漁業関係者

→ 受精卵の搬入

《種苗生産》…5，6月
瀬戸内海海域栽培漁業推進協議会（水研センター屋島庁舎利用）、大阪府水産技術センター
10．9万尾生産

→ 種苗の配布

《中間育成・種苗放流》…6月
関係府県の漁協等（大阪府、兵庫県、岡山県、愛媛県、香川県、大分県）
8．4万尾放流

《餌料の供給・技術者の派遣》
関係11府県

採卵

サワラ親魚

種苗生産

サワラ種苗

中間育成

放流

7 放流の効果の把握と生物多様性の保全への配慮

○ 地区ごとの漁獲量調査や市場における放流魚の混入調査等により、漁業生産面における放流の効果を把握するとともに、遺伝子情報を用いて種苗生産に用いられた親魚と漁獲物の親子関係を判別する技術を活用することにより、種苗放流が再生産に寄与しているか資源造成面における効果を検証し、放流計画に反映させる。漁業生産面における効果を評価する際には、流通、加工、遊漁等に係る経済的な波及効果も考慮するよう努める。また、栽培漁業の実施に当たっては、国及び水研センターが作成した遺伝的多様性への影響リスクを低減するための技術的な指針を種苗生産現場へ普及するとともに、生物多様性の保全との両立に努める。

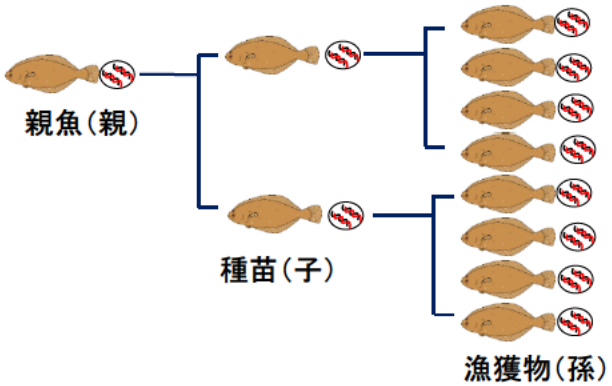
【漁業生産面の効果の把握】

イラストマー標識

天然物と区別するための標識

放流物の混入調査

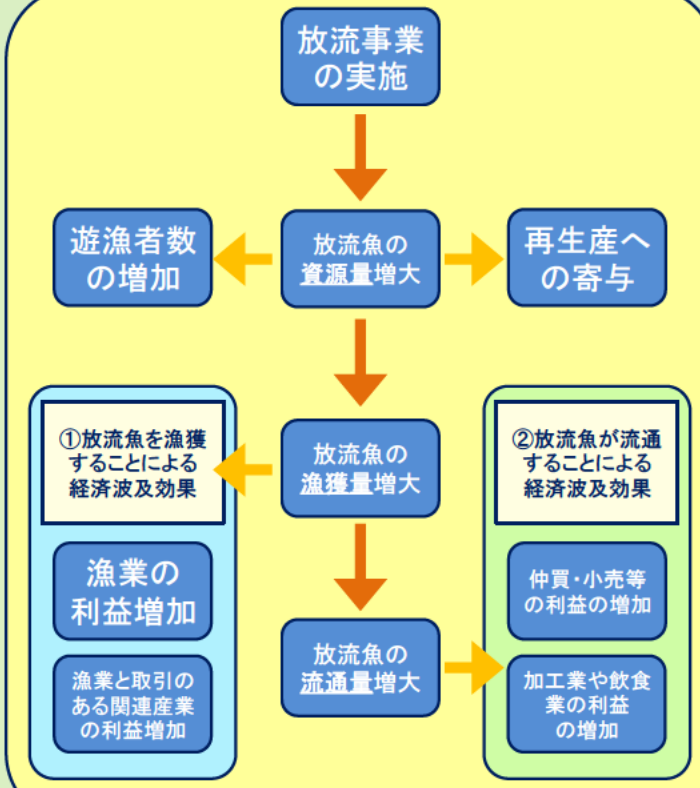
【資源造成面の効果の検証】



各地から集められた漁獲物のDNA情報を親魚や種苗のDNA情報のデータベースで照合。

遺伝的特徴が一致すれば、再生産への寄与。

【経済的波及効果（イメージ図）】



※平成22年度栽培漁業技術中央研修会テキスト集より

8 栽培漁業に関する国民の理解の醸成と普及

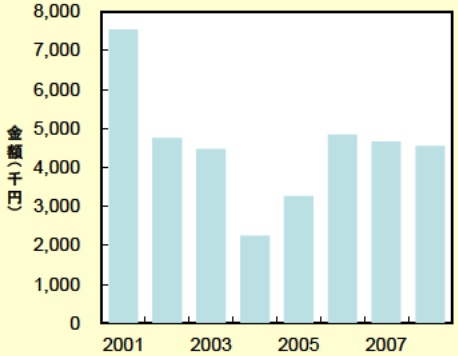
○ 栽培漁業は、水産物の安定供給の機能に加えて、水産物の供給による国民の健康の増進、自然環境の保全、地域社会の形成及び維持等の多面的な機能を有していることについて、国民への普及及び啓発に取組む。特に、種苗放流の効果についての積極的な情報提供により、遊漁者や遊漁船業者等の種苗放流に対する理解の醸成に取り組む。

【栽培漁業についての普及啓発活動】

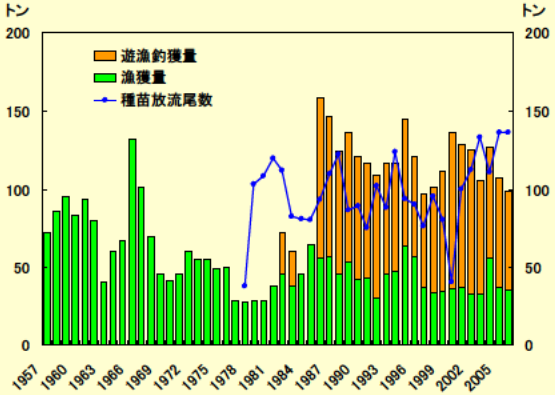
児童による種苗放流

啓発看板

【遊漁者の協力金と遊漁釣獲量】

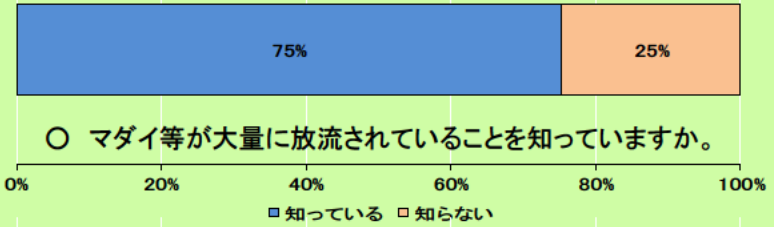


神奈川県におけるマダイ遊漁者・遊漁船協力金の収集状況

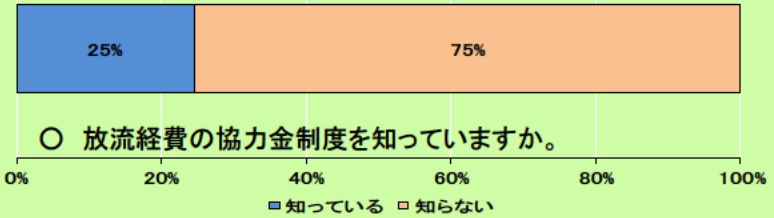


神奈川県におけるマダイ漁獲量と遊漁釣獲量の推移

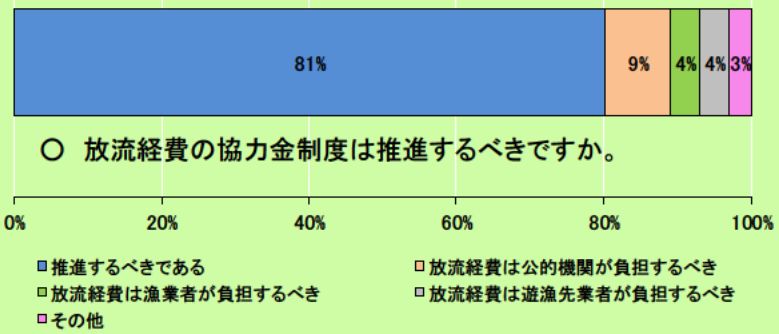
【種苗放流協力金制度に関するアンケート調査結果】



○ マダイ等が大量に放流されていることを知っていますか。



○ 放流経費の協力金制度を知っていますか。



○ 放流経費の協力金制度は推進するべきですか。

平成21年2月国際フィッシングショー来場者を対象としたアンケート調査結果

9 種苗放流と種苗の育成の場の整備との連携の推進

○ 放流された種苗の育成場である藻場、干潟等の保全や回復のための漁場整備、水産生物の増殖や生育に配慮した漁港施設の整備及び漁業者や地域住民等が取り組む海岸清掃等の活動と種苗放流の連携の推進に努める。

【藻場・干潟等の保全】

実施例：水産多面的機能発揮対策事業

【水産生物の成長段階に応じた育成環境づくり】

実施例：キジハタ育成礁の設置（山口県）

※キジハタの放流箇所に設置。
放流されたキジハタ稚魚の隠れ家になるほか、餌生物を集める効果もある。